

A collection of historical artifacts is displayed on a light-colored surface. On the left, there is a blue-bordered board with a grid of small, round, light-colored objects. Below the board are several medals and ribbons: a red ribbon with a circular emblem, a blue ribbon with a circular emblem, and two ornate silver medals with star-shaped centers. In the bottom left corner, there is a circular compass with a white face and black markings. A pair of gold-rimmed glasses with thin temples is positioned in the center of the image.

# 世界の都市問題

～インドと東京を比較

1J03D208日吉良太



# 目次

- ◆ インドの概要
- ◆ インドの大気汚染
- ◆ 環境の視点から
- ◆ インド人とNGO
- ◆ 人口問題
- ◆ ゴミ問題
- ◆ まとめ
- ◆ 参考文献

# インドの概要

- ◆ インドは、日本の約9倍の面積を有し人口は10億人を超え中国に次ぐ世界第二位になっています。また、感染症の宝庫と言われ結核患者数、HIV / AIDS感染者、狂犬病の死亡者数は世界最大となっている。平均寿命は男性62歳女性63歳と年々増加傾向にあり乳児死亡率も徐々に改善しています。しかし、地方では未だ高い乳児死亡率のままです。都市部では自動車台数の急激な増加による大気汚染の問題も深刻です。大気汚染の対策として首都ニューデリーでは国内二つ目の地下鉄建設が進んでおり、先日、区間限定ながら運転を開始した。また、法律面で政府は水質汚濁防止・規制法、大気汚染防止・規制法を制定し、無鉛ガソリンの導入、Euro-2の排出ガス規制等の対策を行っていますが、まだまだ後手に回っているのが実情である。



## 11 - 9 開発途上国の社会・環境指標(1)

国(地域)	(1) 開発途上 国の人間 貧困指数 の順位	(2) 貧困ライ ン以下の 人口割合	(3) 平均寿命 満40年未 満の人口 割合	(4) 15歳以上 人口の非 識字率	(5) 安全な水 が1km以内 で得られな い人口割合	(6) 5歳未満 の低体重 児の割合	(7) 満1歳未 満の死亡 率	(8) 満5歳未 満の死亡 率
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(1,000人 当たり)	(1,000人 当たり)
	2003	1990-2001	2000-05	2001	2000	1995-2001	2001	2001
インド	53	34.7	15.3	42.0	16	47	67	93

国(地域)	トイレが ある人口 割合	薬が徒歩 1時間以 内で手に 入る割合	妊娠・出 産時の妊 婦の死亡 率	医師など が補助し た出産の 割合	出産時の 母の年齢 15~19歳	避妊の 普及率	妊婦の貧 血症の割 合	乳幼児へ のはしか ワクチン 投与率
	(%)	(%)	(10万人 当たり)	(%)	(1,000人 当たり)	(%)	(%)	(%)
	2000	1997	1995	1996-2000	2002	1990-2001	1985-2000	2001
インド	28	35	440	42	104	52	88	56

## 12 - 2 就業者数(1)

年	日 本 (I) (15歳以上)		
	計	男	女
1996	64,860	38,580	26,270
1997	65,570	38,920	26,650
1998	65,140	38,580	26,560
1999	64,620	38,310	26,320
2000	64,460	38,180	26,300
2001	64,120	37,830	26,290

インド (II) b		
計	男	女
27,941	23,515	4,426
28,245	23,608	4,637
28,166	23,392	4,774
28,113	23,284	4,829
27,960	23,037	4,923

項目・年次		世界	日 本	インド
国内総生産	1991	...	28,134	333
(名目GDP)	95	...	42,233	393
(米ドル)	98	...	31,286	429
	99	...	35,336	448
	2000	...	37,408	460
	01	...	32,745	471
	02	...	31,277	...
実質経済成長率				
(GDP) (%)	1995	4.1	1.6	7.3
	96	4.4	3.5	7.8
	97	4.2	1.8	4.8
	98	2.6	-1.1	6.5
	99	3.5	0.7	6.1
	2000	4.5	2.4	4.4
	01	1.6	-0.6	5.6





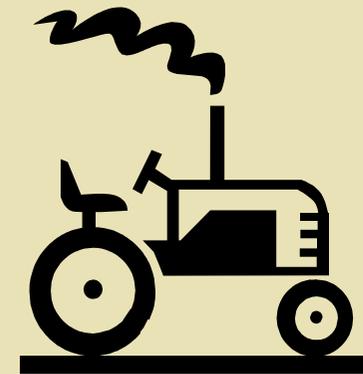
インド(都市)の空気はとても汚かった。それは何処に行っても途絶えることのない車やオートリキシャーの排気ガスが大きく関係していると思った。

東京も車は多いし、地方に比べたら空気が汚れているのだろう。

でも東京の比ではないのだ。

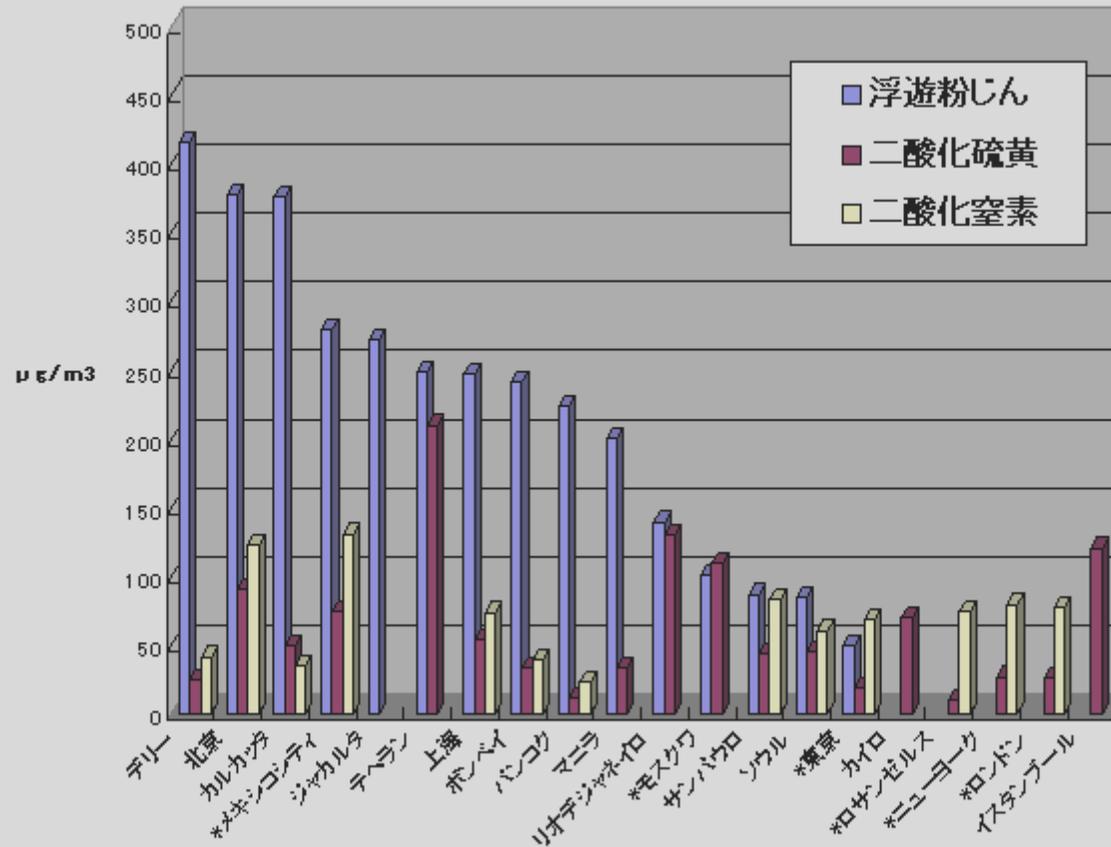
そして人が本当に多い。どこにいても「人」町中にはいたる所にゴミが捨てられている。  
(映像資料あり)

まずは大気汚染を考えてみよう。





世界主要都市の大気汚染状況 (1995)



\*印はOECD加盟国

資料: World Development Indicators 1998, World Bank



では汚れた空気によっておこる弊害は何であろうか？

- 1、二酸化炭素による地球温暖化
- 2、酸性雨
- 3、衛生状態の劣化 などなど

インドでは全て起こっていること。だがそれ以上に世界全体の問題と一致する。

インドだけの問題ではないのである。



# 環境の視点から

- ◆ 環境の視点からインド人を分類すると次の3つに分けられる、、、
- ◆ 1、官僚、医師、企業家などの経済発展の受益者(六分の一)
- ◆ 2、主に農民。自然環境に依存。(半数以上)
- ◆ 3、環境難民。開発による立ち退き者や都市スラム住民(三分の一)
- ◆ 2や3の人々が1から収奪された資源によって貧困になり、その解消をめぐる運動がインド人にとっての環境問題である。



# インド人とNGO

- ◆ インドでの環境問題に対するアプローチは主に上記2および3の人々とNGOがつながる手法。
- ◆ NGOが地域住民に対してエンパワメント(自立支援)を促進 政府へ訴える
- ◆ 地域住民が自立し、小さな動きからインド全土を巻き込むような運動へと発展していく





# 人口問題

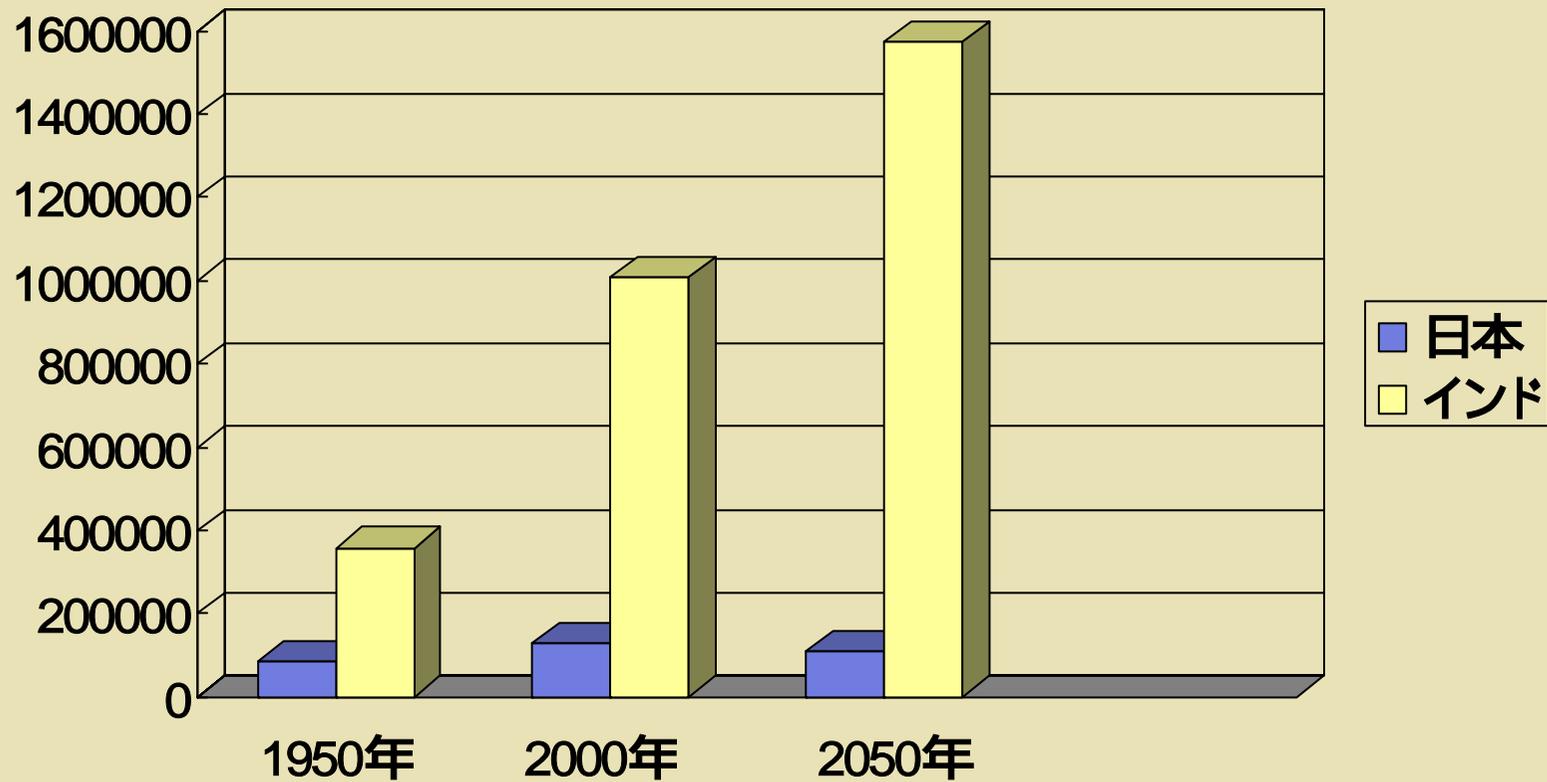
- ◆ インドの都市も東京も、他の世界各地も〔都市〕に人は集まってくる。

物や刺激を求め人は都市にやってくるのだらう。

ではここでの問題点とは？人口と何が深くかかわってるのだらうか？

まず、日本とインドの人口推移を見てみよう

# インドと日本の人口推移 ～ここから見える問題～





食糧不足の問題が生じる

解決策 ~~今より多く作る~~

なぜ無理なのか？

耕作地の減少

酸性雨や目先の利益、生活のための森林伐採による農地の減少や砂漠化

地球規模の温暖化現象による海面上昇や気温上昇による耕作地減少



耕作地の減少 → 食糧不足 → お金  
が必要

労働 → 多産  
力確保

今後解決策を打ち出さない限りこの貧困の悪循環が  
止まることはない！

ではどのような対策が？





## 1、環境問題への対策

●  
自国の未来は自分で守る

## 2、工業化の中における農業の重要性の認識

先進国の二の舞を避ける

3、出生率を下げる。(死亡率は医学の進歩で下がる。)

# 出生率を下げるには

- ◆ 女性の教育及び自立支援が急務
- ◆ 避妊に対する知識や女性が貨幣を獲得できる機会を増やす必要がある
- ◆ 出生率が下がれば人口問題や貧困の悪循環から抜け出すきっかけになりうる(女性の自立にもなる)



# ゴミ問題

- ◆ 道端の至る所にゴミが落ちている。そして町中にはゴミが山のようになり、異臭を放っている場所があった。
- ◆ 日本のゴミ問題と比較して考えてみよう。





日本は今、深刻なゴミ問題をかかえている。  
埋める場所がない。燃やす場所がない。消化不良状態。

インドのゴミ問題はどうかのだろう？

インドはリサイクル大国！

生ゴミ 動物や貧しい人の口へ

その他のごみ ゴミ回収が仕事の人へ ゴミ  
がゴミにならない。

しかし、ゴミ問題と無縁だったインドにゴミ問題  
が生まれた。

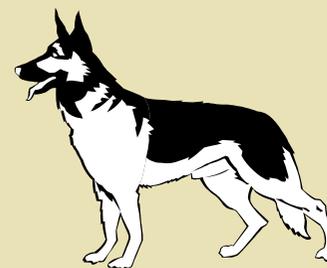
そのゴミ問題とは？

日本でもおなじみのプラスチックごみ

プラごみが町中にたまり、悪臭の原因となっている。

インドにもごみ問題が生まれてしまった。

今後深刻化していくため、早めの対策が必要



では、どうすれば、解決できるか？

まず、インド人の意識を変えなくては  
ない。

ごみはポイ捨て → ごみはゴミ箱に

同時に、政府でも日本の二の舞にならぬよう対策  
を



## まとめ

- ◆ 多くの問題は工業化と都市への人の集中が原因。
- ◆ 搾取する側とされる側の関係の修復が必要
- ◆ 複雑多岐にわたる環境問題やインドという国そのものを理解するには小さなことから見る目が必要



## 参考文献

- ◆ 『開発と環境』 真美一美
- ◆ 『歓喜の街カルカッタ』 ドミニクラピエール
- ◆ 『NGO主義で行こう』 小野行雄

